

NIHON PARKERIZING CO.,LTD.

第131期 報告書

2015.4.1～2016.3.31



日本パーカライジング株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第131期の期末報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

皆様ご承知の通り、当期におけるわが国経済は、新興国経済の減速の影響などから輸出・生産面に鈍さがみられるものの、緩やかな回復を続けていくと思われ、また先進国が堅調な成長を続けるとともに、その好影響が波及し新興国も減速した状態から脱していくとみられるなど、景気回復への期待感が高まってまいりました。

このような経済環境のもと、当社グループでは、ユーザーニーズであります高品質、低コストに繋がる高付加価値技術の提供に努めるとともに、海外需要を着実に捉えるため、北米、メキシコ、中国、タイなどを中心に生産設備の増強を図ってまいりました。さらには将来の市場優位性を確保するべく、さらなる新技術の創出を目指し基礎研究を強化するなど、研究開発活動にも注力してまいりました。この結果、業績につきましては、後述の通りとなりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、業績が堅調に推移いたしましたので、株主の皆様からのご支援にお応えするため、1株につき9円とさせていただきます。

当社グループを取り巻く環境は、アジア経済の成長速度の減速傾向の長期化、年明け以降の急激な円高進行など、国内外で先行きが不透明な状況で推移すると思われませんが、先進性と独創性に秀でる表面改質技術の開発を進めるとともに、引き続き生産増強のための設備投資を積極的に進め、株主の皆様の期待に応えるべく業績の向上に全力を傾注する所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月



取締役会長

小野 駿



取締役社長

里見多一

1. 当社グループの概況

(1) 事業の経過及びその成果

当期における世界経済は、米国においては緩やかながら景気回復が継続し、欧州についても景気を持ち直しがみられましたが、中国をはじめとするアジア新興国では、景気減速が継続するなど厳しい状況で推移いたしました。また、国内経済は、日銀による金融政策などにより緩やかな回復基調で推移しておりましたが、年明け以降の急激な円高や海外景気の下振れ懸念などで景気回復は足踏み状態となり、予断を許さない状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、主要取引先であります自動車業界では、米国での自動車生産は堅調に推移いたしました。国内では依然厳しい状況で推移しております。また、鉄鋼業界でも、中国の供給過剰は依然継続しており、同様に厳しい状況で推移しております。

このような状況において当社グループでは、ユーザーニーズであります高品質、低コストに繋がる高付加価値技術の提供に努めるとともに、海外需要を着実に捉えるため、北米、メキシコ、中国、タイなどを中心に生産設備の増強を図ってまいりました。さらには将来の市場優位性を確保するべく、さらなる新技術の創出を目指し基礎研究を強化するなど、研究開発活動にも注力してまいりました。

この結果、当期の連結業績は次の通りとなりました。

売上高は、109,063百万円（前期比6.4%増）、営業利益は、15,766百万円（前期比6.2%増）となりました。経常利益は、17,921百万円（前期比2.7%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、10,320百万円（前期比3.5%増）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次の通りであります。

(薬品事業)

売上高は43,741百万円（前期比0.9%増）、営業利益は8,529百万円（前期比0.6%減）となりました。当事業部門は、金属などの表面に耐食性・耐摩耗性・潤滑性など機能性向上を目的とする表面改質を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。国内では低調に推移し減収となりましたが、海外では円安の影響もあり中国、インドなどの売上拡大に伴い比較的堅調に推移したことから、増収となりました。その一方でアジア地域での人件費増加等の影響により、増収減益となりました。

(装置事業)

売上高は22,430百万円（前期比7.8%増）、営業利益は1,403百万円（前期比33.7%増）となりました。当事業部門は、輸送機器業界向けを中心に前処理設備・塗装設備・粉体塗装設備などを製造・販売しております。国内では減収で推移いたしましたが、中国、インドネシアでは大型の設備物件が検収となり、売上高は過去最高を記録いたしました。収益面でも堅調に推移したことから、増収増益となりました。

(加工事業)

売上高は38,923百万円（前期比8.6%増）、営業利益は6,977百万円（前期比17.6%増）となりました。当事業部門は、熱処理加工・防錆加工・めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しております。熱処理加工事業については、海外では中国において、自動車部品向けの熱処理加工の売上高が大幅な増収となり、米国、ベトナムでも堅調に推移いたしましたが、インドネシアでは自動車生産の減産から厳しい状況が続き、国内においても自動車部品メーカーの生産拠点の海外シフトの影響を受け低調に推移いたしました。その一方で防錆加工事業については国内外ともに比較的堅調に推移したことから、増収増益となりました。

(その他)

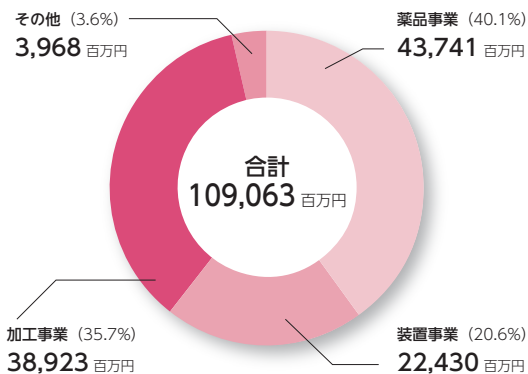
売上高は3,968百万円（前期比58.8%増）、営業利益は269百万円（前期比32.4%増）となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを営んでおります。ビルメンテナンス事業が堅調に推移するとともに、ボルト製品の製造・販売を営む連結子会社1社が加わり、増収増益となりました。

(事業種類別セグメント売上高明細)

(単位：百万円)

事業の種類別セグメント	区 分	売 上 高	
		金 額	構 成 比
薬 品 事 業	業	43,741	40.1%
装 置 事 業	業	22,430	20.6%
加 工 事 業	業	38,923	35.7%
そ の 他	業	3,968	3.6%
合 計	計	109,063	100.0%

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



(2) 設備投資等の状況

当期中に実施した設備投資の総額は10,539百万円であり、事業セグメント別の主なものは次の通りであります。

当期に完成した主要な設備

加工事業	パーカー加工(株)	防錆加工工場の建屋及び設備の新設
加工事業	パーカーツルテックメキシコ(株)	熱処理加工工場の建屋及び設備の新設
加工事業	佛山パーカー表面改質	熱処理加工工場の建屋及び設備の増設
加工事業	タイパーライジング(株)	熱処理加工工場の建屋及び設備の増設

当期において継続中の主要な設備

全社	当社	自社ビルの新設
----	----	---------

(3) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(4) 対処すべき課題

当社グループといたしましては、過去から積み上げた財務の健全性を基盤に、表面改質市場における当社の優位性を確保するため、以下のことを重点課題として、企業体質の強化と収益力の向上に全力を傾注する所存であります。

- ① 高付加価値製品の市場拡大、環境やエネルギー削減に配慮した技術、さらに顧客よりのコストダウン要請に応えるべく各種表面改質技術の開発と確立を図る。
- ② 資材調達や物流コストなど事業全般にわたる原価低減活動を強力に推進する。
- ③ 連結経営の効率向上のため、グループ事業の再編成を引き続き推進し、経営資源の最適化を図り、財務内容の強化に努める。
- ④ 透明性・公平性を確保のうえ意思決定の迅速化など経営の効率化を進め、事業環境や市場の変化に機動的に対応して業績

の向上に努めるとともに、内部統制体制の強化・推進及びその実効的な運用を通じて経営の健全性を維持し、継続的な業容の拡大・発展、企業価値の増大を図ることを基本とし、コーポレートガバナンスの充実に取り組む。

(5) 主要な事業内容

- 薬品事業 金属表面処理剤、防錆油、圧延油、塗料、工業用洗浄剤、無電解ニッケルめっき液の製造・販売他
- 装置事業 金属表面処理装置、塗装機器等の製造・販売他
- 加工事業 防錆加工、熱処理加工他
- その他 建物のメンテナンス工事、金属板試験片（テストパネル）・ボルトの製造・販売他

(6) 従業員の状況

事業の種類別セグメントの名称	従業員数	前期末比増減
薬品事業	1,395名	58名
装置事業	299名	△6名
加工事業	1,754名	49名
その他	198名	△17名
全社（共通）	240名	6名
合計	3,886名	90名

(7) 財産及び損益の状況の推移

①当社グループの財産及び損益の状況の推移

(単位：百万円)

区 分 \ 期 別	第128期 (24.4～25.3)	第129期 (25.4～26.3)	第130期 (26.4～27.3)	第131期 (27.4～28.3)
売 上 高	89,919	99,793	102,514	109,063
経 常 利 益	15,179	18,046	17,453	17,921
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	8,463	10,142	9,975	10,320
1株当たり当期純利益	136円59銭	163円70銭	(注)80円45銭	83円24銭
総 資 産 額	146,739	165,914	187,116	189,377

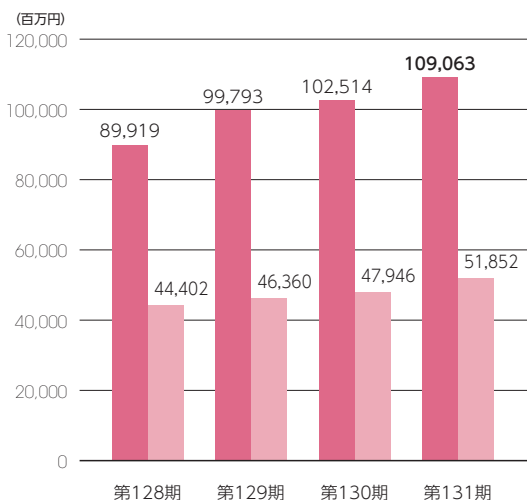
(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 1株当たり当期純利益は、自己株式控除後の期中平均株式数に基づき算出しております。

3. 当社は、平成27年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。第130期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

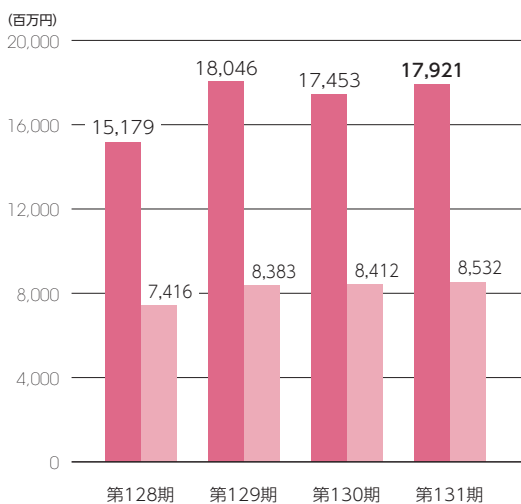
●売上高

■ 期末 ■ 中間



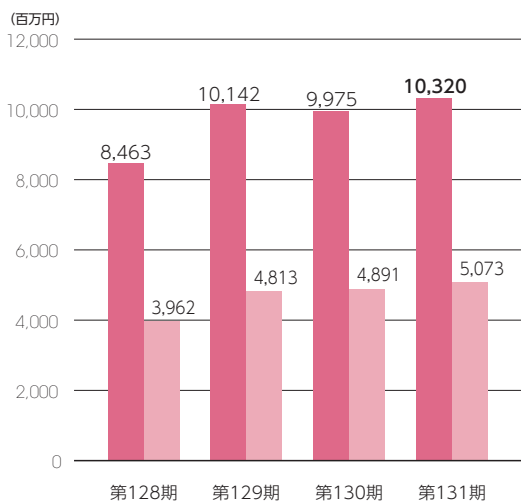
● 経常利益

■ 期末 ■ 中間



● 親会社株主に帰属する当期純利益

■ 期末 ■ 中間



②当社の財産及び損益の状況の推移

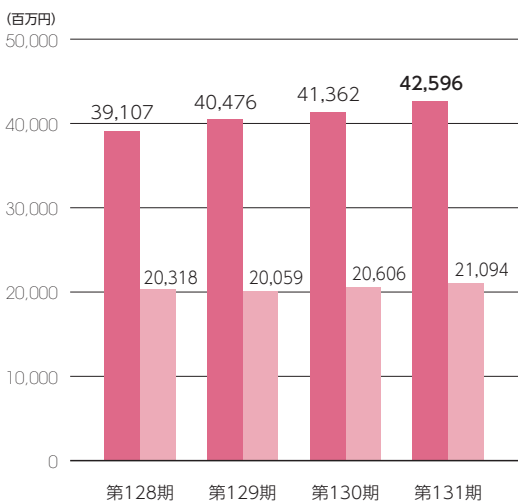
(単位：百万円)

区 分 \ 期 別	第128期 (24.4～25.3)	第129期 (25.4～26.3)	第130期 (26.4～27.3)	第131期 (27.4～28.3)
売 上 高	39,107	40,476	41,362	42,596
経 常 利 益	8,008	8,021	8,050	8,764
当 期 純 利 益	5,435	5,363	5,455	6,315
1株当たり当期純利益	85円69銭	84円57銭	(注)43円02銭	49円79銭
総 資 産 額	80,937	85,242	95,955	96,133

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 1株当たり当期純利益は、自己株式控除後の期中平均株式数に基づき算出しております。
 3. 当社は、平成27年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株あたり純利益を算定しております。

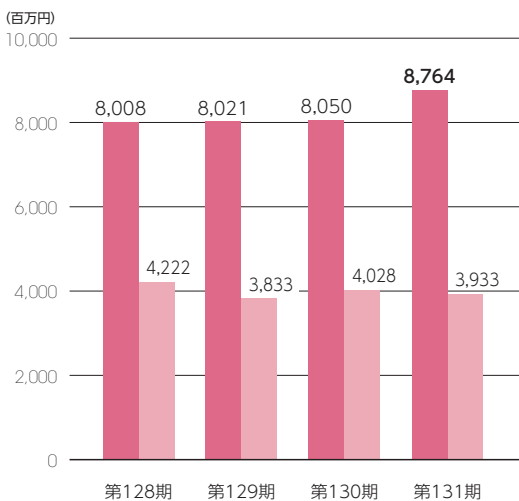
●売上高

■ 期末 ■ 中間



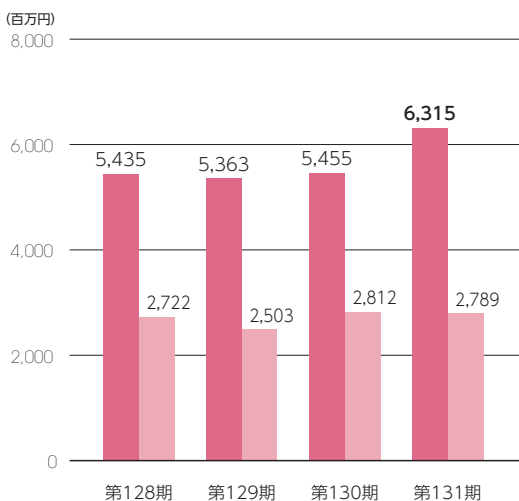
● 経常利益

■ 期末 ■ 中間



● 当期純利益

■ 期末 ■ 中間



2. 当社の取締役及び監査役

地 位	氏 名	担当又は主な職業
取締役名誉会長	里 見 菊 雄	
代表取締役会長	小 野 駿	最高経営責任者
代表取締役社長	里 見 多 一	最高執行責任者
取締役副社長	佐 藤 乾 太 郎	
常務取締役	里 見 康 夫	国際本部長
常務取締役	宮 脇 憲	技術本部長
取締役	荻 野 陸 雄	技術本部副本部長
取締役	吉 武 教 晃	総合技術研究所長
取締役	荒 木 達 也	製品事業本部長
取締役	森 田 良 治	製品事業本部関西事業部長
取締役	渡 邊 正 高	加工事業本部長
取締役	細 金 逸 人	タイパーライジング㈱代表取締役社長
取締役	田 村 裕 保	管理本部長
取締役	西 村 光 治	弁護士（弁護士法人松尾綜合法律事務所） カンロ株式会社社外監査役
常勤監査役	笠 倉 寿 雄	
常勤監査役	菅 博 敏	
監査役	武 田 嘉 和	公益財団法人ニッセイ文化振興財団理事 京浜急行電鉄株式会社社外取締役

- (注) 1. 取締役西村光治氏は、社外取締役であり、また東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。
2. 監査役笠倉寿雄、武田嘉和の両氏は、社外監査役であり、また東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

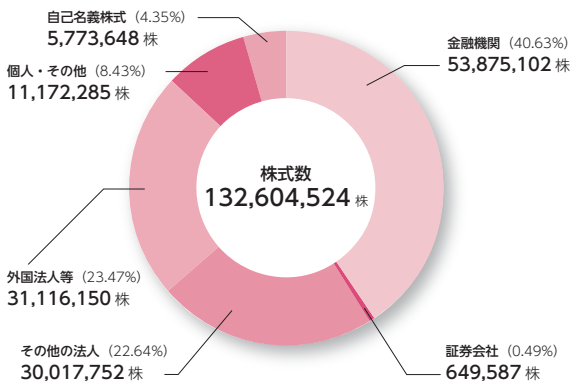
3. 株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 300,000,000株
(2) 発行済株式の総数 132,604,524株
(3) 当期末株主数 4,397名
(4) 大株主

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
	千株	%
日本生命保険相互会社	7,015	5.53
明治安田生命保険相互会社	5,578	4.39
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 新日鐵住金退職金口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	5,328	4.20
株式会社 千葉銀行	4,765	3.75
株式会社 雄 元	4,708	3.71
公益財団法人 里見奨学会	4,633	3.65
株式会社 みずほ銀行	4,227	3.33
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	3,527	2.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,472	2.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,250	2.56

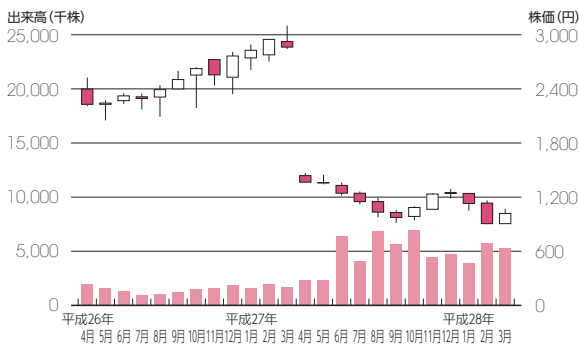
- (注) 1. 当社は、自己株式5,773千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

(5) 所有者別分布状況



(6) 株価の動き

(東京証券取引所における市場相場)



(注) 当社は、平成27年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。

連結財務諸表

連結貸借対照表

科 目	当 期 (平成28年3月31日現在)	前 期 (平成27年3月31日現在)
(資 産 の 部)	百万円	百万円
流 動 資 産	94,053	89,812
現金及び預金	44,937	38,835
受取手形及び売掛金	32,822	32,675
有 価 証 券	3,334	2,090
た な 卸 資 産	9,271	10,765
繰 延 税 金 資 産	1,372	1,425
そ の 他	2,475	4,190
貸 倒 引 当 金	△ 158	△ 169
固 定 資 産	95,323	97,303
有 形 固 定 資 産	54,665	50,911
建 物 及 び 構 築 物	17,491	16,393
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	15,411	12,851
土 地	14,994	15,235
建 設 仮 勘 定	4,567	4,481
そ の 他	2,199	1,949
無 形 固 定 資 産	1,413	1,616
の れ ん	202	466
そ の 他	1,210	1,149
投 資 そ の 他 の 資 産	39,244	44,775
投 資 有 価 証 券	26,703	32,376
繰 延 税 金 資 産	1,083	1,088
そ の 他	11,555	11,410
貸 倒 引 当 金	△ 98	△ 99
資 産 合 計	189,377	187,116

科 目	当 期 (平成28年3月31日現在)	前 期 (平成27年3月31日現在)
(負 債 の 部)	百万円	百万円
流 動 負 債	33,166	32,710
支払手形及び買掛金	15,369	15,535
短期借入金	—	144
1年以内返済予定の長期借入金	752	399
未払法人税等	2,416	1,888
賞与引当金	2,421	2,345
その他	12,206	12,397
固 定 負 債	18,320	18,282
長期借入金	2,998	1,854
役員退職慰労引当金	904	901
退職給付に係る負債	9,969	9,711
繰延税金負債	2,523	3,938
その他	1,924	1,875
負 債 合 計	51,487	50,992
(純 資 産 の 部)		
株 主 資 本	107,220	98,793
資 本 金	4,560	4,560
資 本 剰 余 金	3,912	3,913
利 益 剰 余 金	102,377	93,949
自 己 株 式	△ 3,629	△ 3,628
その他の包括利益累計額	9,262	15,492
その他有価証券評価差額金	7,208	10,615
繰延ヘッジ損益	2	△ 3
為替換算調整勘定	2,127	4,910
退職給付に係る調整累計額	△ 76	△ 29
非支配株主持分	21,406	21,836
純 資 産 合 計	137,890	136,123
負 債 及 び 純 資 産 合 計	189,377	187,116

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

連結損益計算書

科 目	当 期	前 期
	(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
	百万円	百万円
売 上 高	109,063	102,514
売 上 原 価	68,627	64,779
売 上 総 利 益	40,436	37,735
販売費及び一般管理費	24,669	22,884
営 業 利 益	15,766	14,850
営 業 外 収 益	3,025	3,048
受 取 利 息	308	238
受 取 配 当 金	555	431
受 取 賃 貸 料	355	381
受 取 技 術 料	389	354
持分法による投資利益	1,012	791
為 替 差 益	—	497
そ の 他	405	353
営 業 外 費 用	871	445
支 払 利 息	53	26
為 替 差 損	566	—
そ の 他	251	418
経 常 利 益	17,921	17,453
特 別 利 益	152	419
特 別 損 失	173	384
税金等調整前当期純利益	17,900	17,488
法人税、住民税及び事業税	5,243	5,041
法 人 税 等 調 整 額	381	661
当 期 純 利 益	12,275	11,785
非支配株主に帰属する当期純利益	1,954	1,809
親会社株主に帰属する当期純利益	10,320	9,975

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

当期 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当 期 首 残 高	4,560	3,913	93,949	△ 3,628	98,793
当 期 変 動 額					
剰余金の配当			△ 1,892		△ 1,892
親会社株主に帰属する当期純利益			10,320		10,320
自己株式の取得				△ 1	△ 1
自己株式の処分		0		0	0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△ 0			△ 0
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)					—
当 期 変 動 額 合 計	—	△ 0	8,428	△ 1	8,426
当 期 末 残 高	4,560	3,912	102,377	△ 3,629	107,220

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当 期 首 残 高	10,615	△ 3	4,910	△ 29	15,492	21,836	136,123
当 期 変 動 額							
剰余金の配当							△ 1,892
親会社株主に帰属する当期純利益							10,320
自己株式の取得							△ 1
自己株式の処分							0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							△ 0
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減							△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)	△ 3,406	6	△ 2,782	△ 46	△ 6,229	△ 430	△ 6,659
当 期 変 動 額 合 計	△ 3,406	6	△ 2,782	△ 46	△ 6,229	△ 430	1,766
当 期 末 残 高	7,208	2	2,127	△ 76	9,262	21,406	137,890

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

貸借対照表

科 目	当 期 (平成28年3月31日現在)	前 期 (平成27年3月31日現在)
(資 産 の 部)	百万円	百万円
流 動 資 産	38,960	33,049
現金及び預金	14,520	10,833
受取手形及び売掛金	16,468	15,927
有 価 証 券	2,267	2,000
た な 卸 資 産	1,860	1,631
繰延税金資産	782	846
そ の 他	3,236	1,999
貸倒引当金	△ 175	△ 188
固 定 資 産	57,173	62,906
有 形 固 定 資 産	19,371	18,348
建物及び構築物	5,531	5,641
機械装置及び運搬具	1,914	1,673
土 地	9,117	9,136
建設仮勘定	1,854	969
そ の 他	953	926
無 形 固 定 資 産	109	97
投資その他の資産	37,691	44,460
投資有価証券	18,831	25,005
長期貸付金	2,705	2,124
そ の 他	16,240	17,416
貸倒引当金	△ 86	△ 86
資 産 合 計	96,133	95,955

科 目	当 期 (平成28年3月31日現在)	前 期 (平成27年3月31日現在)
(負 債 の 部)	百万円	百万円
流 動 資 産	16,844	16,174
支払手形及び買掛金	7,609	8,376
未払法人税等	974	739
賞与引当金	1,480	1,460
そ の 他	6,780	5,597
固 定 資 産	9,386	11,148
退職給付引当金	6,959	6,828
役員退職慰労引当金	545	552
繰延税金負債	1,007	2,577
そ の 他	873	1,191
負 債 合 計	26,230	27,323
(純 資 産 の 部)		
株 主 資 本	63,205	58,793
資 本 金	4,560	4,560
資 本 剰 余 金	3,913	3,913
利 益 剰 余 金	57,864	53,451
自 己 株 式	△ 3,133	△ 3,131
評 価 ・ 換 算 差 額 等	6,697	9,838
その他有価証券評価差額金	6,697	9,844
繰延ヘッジ損益	—	△ 5
純 資 産 合 計	69,902	68,632
負 債 及 び 純 資 産 合 計	96,133	95,955

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

損益計算書

科 目	当 期	前 期
	(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
	百万円	百万円
売 上 高	42,596	41,362
売 上 原 価	26,828	25,822
売 上 総 利 益	15,768	15,540
販売費及び一般管理費	10,965	10,594
営 業 利 益	4,802	4,945
営 業 外 収 益	4,228	3,344
受 取 利 息	72	55
受 取 配 当 金	2,694	1,791
受 取 賃 貸 料	341	331
受 取 技 術 料	960	954
為 替 差 益	—	97
そ の 他	160	114
営 業 外 費 用	266	239
支 払 利 息	15	16
為 替 差 損	100	—
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	—	14
そ の 他	150	208
経 常 利 益	8,764	8,050
特 別 利 益	79	229
特 別 損 失	136	208
税 引 前 当 期 純 利 益	8,707	8,071
法人税、住民税及び事業税	2,160	2,166
法 人 税 等 調 整 額	231	448
当 期 純 利 益	6,315	5,455

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

当期 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当 期 首 残 高	4,560	3,913	53,451	△ 3,131	58,793
当 期 変 動 額					
剰余金の配当			△ 1,902		△ 1,902
当期純利益			6,315		6,315
自己株式の取得				△ 1	△ 1
自己株式の処分		0		0	0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					—
当 期 変 動 額 合 計	—	0	4,412	△ 1	4,411
当 期 末 残 高	4,560	3,913	57,864	△3,133	63,205

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当 期 首 残 高	9,844	△ 5	9,838	68,632
当 期 変 動 額				
剰余金の配当				△ 1,902
当期純利益				6,315
自己株式の取得				△ 1
自己株式の処分				0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△ 3,146	5	△ 3,140	△ 3,140
当 期 変 動 額 合 計	△ 3,146	5	△ 3,140	1,270
当 期 末 残 高	6,697	—	6,697	69,902

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

事業所

(平成28年4月1日現在)

本 社

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-15-1
電話 03(3278)4333

総 合 技 術 研 究 所

中 京 事 業 部

名古屋営業所
豊田営業所
浜松出張所

関 西 事 業 部

大阪営業所
滋賀営業所
岡山営業所
姫路営業所
九州営業所

関 東 事 業 部

宇都宮営業所
仙台出張所
所沢営業所
千葉営業所
鹿島出張所
湘南営業所

製 造 部

平塚第一工場
関西工場
福山第二工場
九州第一工場

防 錆 ・ 熱 処 理 事 業 部

仙台工場
新潟工場
宇都宮工場
前橋工場
勝田工場
古河工場
平塚第二工場
愛知工場

伊丹工場
福山工場
九州第二工場

プラント事業部

産業機材部
アイオニクス部

株 主 メ モ

- 事業年度** 4月1日から翌年3月31日まで
- 株主総会** (1) 定時 毎年6月
(2) 臨時 必要あるときに開催
- 配当金** (1) 期末配当金受領株主確定日 3月31日
(2) 中間配当金受領株主確定日 9月30日
- 公告方法** 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
*公告掲載の当社ホームページアドレス
<http://www.parker.co.jp/>
- 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先** 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120 (232) 711 (通話料無料)

【ご注意】

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



NIHON PARKERIZING CO.,LTD.



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。